

CASE 02

企業名

ザマ・ジャパン
株式会社日本語力を問わずに採用し、社内では
主に英語を使用、多様な人材が働き
やすい環境づくり

企業インタビュー

課長
高橋 栄治 氏担当部署
管理部

事業内容

農・林業と園芸管理機器向け小型燃料供給装置と周辺機器の開発・設計・研究・実験を行う。主力製品であるダイヤフラムキャブレターは世界トップシェアを誇る。香港に本社、中国とフィリピンに製造拠点、アメリカに販売拠点を有し、グローバルに事業を展開している。

企業概要

企業名：ザマ・ジャパン株式会社

所在地：岩手県八幡平市大更2-154-14

設立年：1952年

資本金：9,999万円

従業員数：42名

うち高度外国人材4名

出身国・地域：イタリア1名、インド2名、ブラジル1名

業種：製造業（一般機械）

ホームページ：<https://www.zamacorp.com/jp>

高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

海外の拠点や顧客とやり取りできる技術職を求めていた

当社は、ドイツの有名チェーンソーメーカーを親会社に持ち、日本の開発・研究拠点の他、香港に本社、中国とフィリピンに製造拠点、アメリカに販売拠点を構えるグローバル企業です。通訳専門の社員はおらず、現場の技術職が自ら海外拠点や海外のお客様とのやり取りを担当するため、英語によるコミュニケーション能力が高い理系人材を採用してきました。

高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

多様な人材が働きやすい環境づくりに取り組む

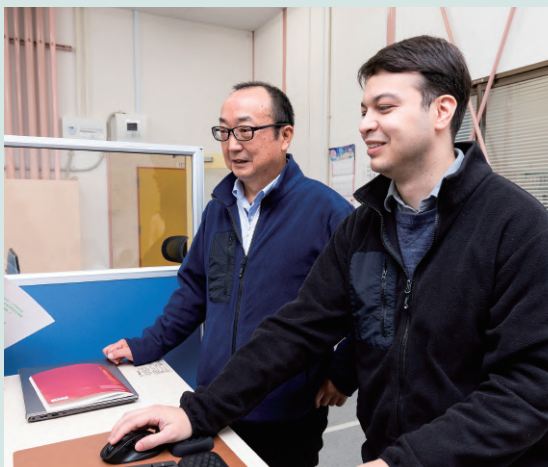
外国人材がスムーズに住まいを見つけられるよう、当社が賃貸借契約の保証人になったり、当社名義で物件を借り上げたりといったサポートを行います。また、社内においては英語版の就業規則や業務ガイドラインを用意している他、社員にコンプライアンストレーニングを受けさせ、国籍や文化、宗教の違いがあっても働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

選考段階で企業見学の機会を設け、ミスマッチを防ぐ

当社技術職の採用条件は、英語力がある、あるいは英語を習得する意欲がある理系人材です。日本語の能力は問わないため、外国人材も日本人材と同じ基準で評価します。採用で特に意識しているのは、ミスマッチによる早期離職を防ぐこと。当社としては社員にできる限り長く働いて欲しいという思いがありますが、当社は過疎化が進む地方に位置しているため、人によっては仕事や生活に馴染めない可能性があるのも事実。そこで、選考段階で会社や工場、周辺環境を見学してもらい、職場の雰囲気や社員としての働き方、普段の生活などをイメージしてもらうようにしています。このような地道な価値観のすり合わせの甲斐もあってか、入社後10年以内に退職する社員はほぼいなくなりました。

CASE 02



高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

社内では英語を主に使用、希望者には日本語レッスンも提供

当社は日本語能力を問わずに採用しているため、社内で日本語を使用する場面が多いと外国人材が疎外感を抱いてしまう可能性があります。そこで、ミーティングの場はもちろん、休み時間中の雑談でも、外国人材が加わった際は英語に切り替えるという対応を取っています。マネージャーの多くは海外赴任経験があり、外国人材とのコミュニケーションに慣れていること、日本人の技術職も英語が堪能なことが功を奏したといえるかもしれません。

とはいえ、役所での手続きや病院での診察、居住地区の活動など、日常生活では日本語を話せないと困る場面もあるはずです。会社がサポートするにも限界があるため、外国人材の希望者には、会社がオンライン日本語レッスンの費用を負担することで、日本語習得を後押ししています。

高度外国人材活用による成果・変化

外国人材が、新たな思考法や知見をもたらしてくれた

外国人材は、日本人社員にはない思考法や知見を持ち込んでくれました。ブラジル社員から学んだのは、結論先行型の思考法。社内で結論を先に述べるコミュニケーションを浸透させようと研修を実施した時には、芳しい成果はありませんでしたが、実際に同僚が手本を見せてくれたことで、日本人社員にも大きな刺激になったようです。また、機械系エンジニアリングは得意だったものの、電子回路設計などには弱かった当社に、その分野の知見をもたらしてくれたのはインド人社員でした。

今後は、自動車と同様、園芸機器でもエンジンと並行しモーターを動力源とする電動化が進むはず。当社はその領域の開発に力を入れているので、今後も国籍を問わず、関連する知識やスキルを持つ方を採用していく予定です。

高度外国人材社員

インタビュー

お客様のニーズに応えられる
商品を開発したいです。



Daniel Cardoso Cordeiro

ダニエル カルドソ コルデイロ 氏

国籍・地域
ブラジル 2022年入社

入社理由

日本の大学院に在学中、様々なアルバイトやボランティア活動を経験する中で、計画的に仕事を進めながらプライベートも楽しむ日本の働き方に魅力を感じ、日本で就職することにしました。大学院での研究テーマだった「流体解析」に関わる求人を検索したところ、ザマ・ジャパンがヒット。高い専門スキルを持った社員が生き生きと働いている様子に惹かれ、入社を決めました。

業務内容

設計部のシミュレーションチームで、流体・構造・振動解析を行っています。製品内部の空気やオイルの流れを分析・予測し、より良い性能や商品の開発につなげるのが私の役目です。入社2年目からは、プロジェクトマネージャーとして商品開発にも携わるようになりました。様々な職種のステークホルダーと意見を調整するのは難しいですが、ものづくりビジネスに対する理解が深まり、面白さも感じています。

東北地域で働く理由・良さ

私は暑い地方出身のため、当初は寒い東北での暮らしに不安がありましたが、実際には雪かきやスノーボードといった新しい経験のおかげで、想像以上に楽しめています。そして東北の最大の魅力は、親切な人が多いこと。大学院生時代、東北旅行中にバスを逃して途方に暮れていた時には地元の人が助けてくれましたし、実際に住んでみても、地元の人たちが偏見なく受け入れてくれるので嬉しいです。

今後のキャリアプラン

かつては、単に良い商品を作ることが大切だと考えていましたが、商品開発のプロジェクトリーダーを経験したことで、どんなに良い商品もお客様の要望に沿っていなければ意味がないと気づきました。今後はお客様とコミュニケーションを重ねながら、お客様自身が気づいていない潜在的なニーズも汲み取り、それに応えられるような商品を開発できるようになりたいです。